

FAQ・よくあるご質問

Q. アメリカの展示会への出展を考えていますが、知っておかなければいけない事は何かありますか？

A. 自由競争のアメリカと思われがちですが、展示会業界においては非常に封建的かつ閉鎖的です。

「UNION」（ユニオン）というアメリカ独自の労働組合組織があり、会場内での作業全般を取り仕切っています。

アメリカの展示会は展示会開催地の地元のユニオンに加盟している作業員しか現場で作業する事ができません。

出展社は弊社の様な装飾会社を自由に選ぶことはできますが、会場内での作業はすべて「UNION」に依頼しなければなりません。

Q. 日本の展示会で使ったブースデザインで、アメリカの展示会にも出展したいのですが可能ですか？

A. お客様のお好きなデザインの再現は可能ですが、デザイン仕様がレギュレーションにあっているか展示会事務局に許可をとる必要があります(Booth Approvalと言います)。

もちろん、アメリカ向け新規デザインでの出展もデザインからお手伝いできます。

ただしアメリカでのブースコストは日本の2.5倍から3倍かかります。

Q. なぜそんなに高くなるのですか？

A. 主な理由を3点あげてみます。

1. **製作**。最終デザインブースをノックダウン工法で制作する必要があります。

ノックダウン工法とは、現場での再組み立てを視野に入れて工場で最終仕様のデザイン通りに制作し、解体、丁寧に梱包、展示会場に送り再組み立てするものです。

アメリカでは日本で言う現場での経師仕上げは消防法で禁じられているので化粧版、もしくは展示会用防炎ビニールシートで仕上げます。ヨーロッパやアジアで行なわれる会場でのペイント仕上げもアメリカではあまり行なわれません。

2. **輸送**。アメリカの国土面積は日本の24倍あり、輸送コストも展示会開催地によって違ってきます。

例えば西海岸から東海岸にある展示会場までの輸送日数はトラック輸送で一週間かかります。

当然コストも日本の比ではありません。

3. **現場施工**。展示会場で行う作業の主な作業内容:以下は「UNION」による作業になります。

- 会場に届いたブース部材及び展示物の会場内での搬出入作業
- ブースの組み立て撤去等大工仕事、サイン、グラフィックの設置作業
- ブース内での電気配線工事、
- 吊りものサイン等、会場の天井からの吊り作業
- AUDIO VISUAL 等の設置、メンテナンス作業
- その他AIRや給排水作業
- ケイタリング、バリスタ、バーテンダー等

上記の作業はそれぞれの作業ごとに個別のユニオンが行う事になります。

そのコストは展示会開催地及び展示会によっても異なります。平均すると1人の作業員1時間あたりのコストが日本の作業員1人の半日分から1日分のコストになります。この「UNION」を使うことはルールなので、例外は認められません。また各々の作業員のスキルによっても作業効率に差が出てくるので、良い作業員をあらかじめリストアップしておく事も作業時間短縮に繋がり、スケジュール通りの施工をお約束できることになります。

ここで注意したいのはユニオンによる作業コストはあくまでも作業にかかった人数と時間で算出されます。

先に説明させていただいたノックダウン工法も展示会場現場でのユニオン作業時間を極力抑えるためのものです。

Q.アメリカの展示会への出展は提出書類が多く非常に煩わしいと聞きますが。。。

A. そうですね。英語での提出になる上、提出期日も厳守しなければ、ペナルティーが加算され金額も高くなってしまいます。

ユニオンによる作業の依頼には支払いを添えて必須書類を提出する必要があります。

また、閉会後の請求書などの事後処理もあり、展示会事務局やユニオンとの正確なやり取りが不可欠になります。

ここでの手違い、誤解や読み違いは、施工の遅れ、ペナルティー料金の追加、また最悪の場合は出展できないということもありえます。出展社が自社だけでやり取りするのは想像以上に大変な作業になりますので、アメリカの展示会事情を熟知し、管理してくれる装飾会社(EAC)に依頼されることをお勧めします。

Q. EACとは何ですか？

A. EAC—Exhibitor Appointed Contractorの略称、展示会装飾会社のこと指します。

アメリカの展示会事情を熟知し、見積もりの段階で出展に関する全てのコストを明確にし、各ステップでの申請書・許可書・支払いの代行、また出展に当たって全体を管理してくれる存在です。

出展に関する煩わしい時間を短縮し、支出を抑えられるので、安心できる展示会出展をお約束できます。

Q. 出展にあたり、COIという言葉を目にしますが…？

A. COI—Certificate of Insuranceの略称、保険の証書です。

展示会で出展社及びEACが保険に入っている証明であり、アメリカの展示会では提出が必須です。

これは展示会事務局に提出していただきます。受理されていなければ会場への出入りはできません。

第三者賠償責任保険(自社ブース内でのアクシデントで来場者が怪我をした場合などに備えて)・会場保険(会場を傷つけた場合に備えて)などがあります。

Q. アメリカでの展示会出展に際してはアメリカ特有の慣習、システムがあるのが良くわかりました。

これらのことを依頼するにあたってどのような手続きを踏めば良いのでしょうか？

A. Third Party Authorizationという書類をユニオンと展示会事務局に提出して頂く必要があります。

これは出展社にかわって展示会装飾会社(EAC)が申請書類の提出それに伴う支払いも一括して代行させていただくと言う委任状のような書類になります。現場でのスムーズな進行をお約束することができます。

弊社はアメリカにおいて30年以上の経験と実績を持つ日系展示会装飾会社(EAC)です。出展に際しての疑問点、不明点は勿論、お客様の多様なニーズに全て日本語でお応えします。デザインコンセプトから現場施工管理まできめ細やかなサービスを日本語で提供させていただきます。